ニュースと読み物
□ブラックバイト・奨学金は 2
□話題のピケティとマルクス 2
□パズルを解いてプレゼント 2

しんぶん赤旗 検索
購読（または見本紙）のお申し込み
お近くの日本共産党事務所または、党中央委員会へ。☎03（3403）6111
メールアドレス info@jcp.or.jp

しんぶん赤旗 学生版
2015年春号
発行所 日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷４の26の７
〒151－8586 ☎03（3403）6111
定価（税込）
日刊紙（毎日の新聞）月3497円 １部130円
日曜版（週１回発行）月 823円 １部210円
■「赤旗」公式 facebook アカウント 赤旗PR、twitter アカウント@akahata_PR ■ファクス 中央委員会 03(5474)8358 赤旗編集局 03(3350)1904 ■http://www.jcp.or.jp/

学び いっしょに 行動しよう

大学3年生 柳生竹史さん × 日本共産党書記局長 山下よしきさん × 日本共産党衆院議員 池内さおりさん

ご入学・進級おめでとうございます。「新しいことに挑戦したい」など、希望に胸を膨らませている人も多いのでは。日本共産党（※❶）の山下よしき書記局長と池内さおり衆院議員、大学3年生の柳生竹史さんに、学生生活の魅力などを語ってもらいました。

みんなが思いを発信できる

柳生竹史（やぎゅう・たけし） 21歳。和光大学３年生。学びにデモにとアクティブな学生生活を送る。

――大学で学ぶ魅力は？

柳生竹史　入学して2年ですが、学び方は大事ですね。私は大学4年のときに、小林多喜二の母を描いた小説を読み、衝撃を受けました。"命はどう考えるのか"と、本を読んだり、他の人と議論して深めることが面白いです。先日は、講義で日本の戦前・戦後史を学び、さらに民青同盟（※❷）で"戦争を繰り返さないために、自分に何ができるか"を議論し、理解が深まりました。

池内さおり　社会と自分をつなぐ講義でえた知識や考え方を、現代の問題にひきつけて考えたり、「自分はどう考えるのか」と、本を読んだり、他の人と議論して深めることが面白いです。先日は、講義で日本の戦前・戦後史を学び、さらに民青同盟（※❷）で"戦争を繰り返さないために、これまで人類が到達した知識を幅広く吸収することやサークル活動、ボランティアなど社会に関わり働きかけることに、積極的にチャレンジしてほしいですね。

「社会とどう向き合うか」を

山下よしき　日本共産党の書記局長、参議院議員。55歳。鳥取大学卒。

――柳生さんは、社会的な行動にも参加しているそうですね。

柳生　はい。昨年、集団的自衛権の行使容認が閣議決定された7月1日は、終電まで、首相官邸前での抗議行動に参加しました。「戦争になれば、学生生活の根本が揺るがされる」と思ったからです。日本共産党の議員さんが、一緒に行動していて共感しました。

池内　その日は、私も官邸前にいました。学生や高校生の姿がたくさんあり、同じ空間のなかで「若者の未来を奪う『戦争する国づくり』は許さない」という怒りとともに、「政治を変えるのは自分たち」という一体感を感じました。昨年の総選挙で、私を国会に送り出したのも、若いみなさんのエネルギーだったと思います。

柳生　「集団的自衛権」や「憲法を変える」というニュースに、「本当に戦争になるのでは」と不安で、じっとしていられませんでした。昨年の「若者憲法集会」（※❸）には、若者1000人が集まり、「憲法を守れ」と声をあげました。政治が自分たちの問題になっていると感じます。

山下　安倍政権は、集団的自衛権や9条改憲、沖縄新基地建設、原発再稼働、TPP（環太平洋連携協定）、消費税増税、アベノミクス――日本のあり方を左右する大問題を、懸念の声や異論に耳を傾けず、「この道しかない」と推し進め、本当に危険です。この国会でも「戦争立法」が狙われています。

日本共産党は、憲法の問題でも「9条の精神に立った外交戦略」を提案するなど、安倍政権と正面から対決し、打開策を示してきました。昨年の総選挙で議席を2・6倍に増やし、さっそくみなさんの願いを国会に届けています。ブラックバイトや奨学金問題をとりあげた質問にも、大きな反響がありました。

柳生　友だちにも「戦争になったら怖い」「大事な問題を、政府が勝手に決めるなんておかしい」という人が結構います。共産党への関心や注目の声も聞きますね。今年は、みんなが思いを発信できる行動を広げたいです。学生主催のデモでは、参加者が思い思いにオシャレして、「戦争すんなよ」「憲法守れ」とコールし、盛り上がりました。ブラックバイトや奨学金の問題でも、地元の市議会で、民青が請願した「ブラックバイト」対策を求める意見書」と「給付型奨学金の創設、無利子奨学金の拡充を求める意見書」が採択されました。声を上げれば社会が動くとわかり、うれしかったですね。

山下　若いみなさんの間で行動が広がっているのは、偶然ではないと思います。若者から希望を奪う政治、自分たちの声を聞こうともしない政治に怒るのは当然です。一緒に、国民の声が届く政治をつくりたいですね。

学生のみなさんが、思いっきり学び、成長されることを期待しています。

若いエネルギー 政治変える

池内さおり　日本共産党の衆議院議員。32歳。中央大学卒。昨年の総選挙で初当選。

上　「憲法守れ」と大阪市でデモ
中　福島県内の仮設住宅でボランティア
下　秘密保護法の危険を東京都内で学ぶ

※❶ 日本共産党――「反戦平和」「国民主権」をかかげて1922年に創立。日本の政党で一番長い92年の歴史をもつ。衆議院21人、参議院11人の国会議員と、約2700人の地方議員が、全国約30万人の党員と一緒に草の根で、「国民の苦難軽減」をモットーに活動している。専制政治に変質した旧ソ連などとは違う、「人間の自由」を本格的に全面的に実現する社会主義・共産主義を目指している。

チェック！ 日本共産党紹介▶

※❷ 民青同盟（民青）――正式名称は、日本民主青年同盟。日本共産党を相談相手に、学び、行動する全国的青年組織。全国の15～30歳までの青年が活動している。

※❸ 若者憲法集会――安倍政権が集団的自衛権の行使を容認し、若者を戦地へ送れるようにしようとするなか、若者の怒りを示そうと、昨年６月に開かれた集会。今年は、６月14日（日）に東京で開催予定。
twitter @wakamono_kenpou

第2次大戦終結70年 「あの戦争は何だった」学び考える学生

西大門刑務所歴史館で説明を聞く学生たち＝ソウル

今年は、第２次世界大戦終結から70年の節目の年です。全国各地の学生が、「あの戦争は何だったのか」について考えるとりくみをすすめています。

首都圏のある民青学生班はこの春、３泊４日で「韓国フィールドワーク」にとりくみました。

班として戦争の「加害の歴史」を約半年かけて学ぶなかで、「現地にいってみよう」の声がだされて企画。日本の侵略と植民地支配の歴史に正面から向き合う旅になりました。

多くの独立運動家が投獄され命を落とした西大門（ソデムン）刑務所歴史館を見学し、日本軍「慰安婦」にされた女性たちが暮らす「ナヌムの家」を訪問しました。

「机の上で学んだだけでわかった気になってはいけない。日本がやったことは本当にひどかった。韓国の人の命も文化も誇りも奪った」「相手を見下し、人間と見てなかったんだと思う」などの感想が出されました。

韓国の学生とも語り合い、「私たちを受け入れてくれ、『仲良くしていこう』という強い気持ちを感じた」「韓国のことも、日本のことも、もっと学びたくなった」とも。

今後、報告集をつくり、報告会を開いていく予定です。

西日本のある民青学生班は、戦争体験者の証言を聞いてビデオなどの記録に残す「聞き取りプロジェクト」にとりくんでいます。

参加した女子学生（21）はこう話しています。「私たちは、あの戦争の体験を実際に聞ける最後の世代。当時の体験とともに、戦争体験者の『若い世代に、二度と同じ思いをさせたくない』という切実な思いをうけつぎ、しっかり発信していきたい」

「しんぶん赤旗」の名物コラムです。今回は学生スペシャル▼

潮流

二十四節気の一つ、清明。若葉が萌え、花が咲き、鳥が歌い舞う。すがすがしく明るい春の気が大地に満ちわたり、万物の生命が活気づく季節の到来です▼夢や希望に胸をふくらませ、真新しいキャンパスに足を踏み入れたみなさん。学び出会い、社会とつながり、学生生活を自分の色に染めていく。みずからの人生を模索し、興味や関心を深めていく権利は誰にもあるはず▼しかし今の日本の教育環境は容易にそれを許してはくれません。重くのしかかる高学費や奨学金の返済。バイトに明け暮れる学生の多さは、国の貧しい教育支援の裏返しです。そのうえ、違法な働かせ方をするブラックバイトが増えています▼山梨の都留文科大で、学生ユニオン（労働組合）が結成されました。ずさんな賃金計算や残業代の不払い、急用でも休みが取れず、商品の買い取りを強要されるなど。そんなブラックバイトが横行する社会を変えようと、学生たちが立ち上がりました▼共同代表の藤川里恵さんは「おかしいと思っても言えない状況を変え、少しでも労働環境を改善したい」と抱負を語ります。さっそく会社との団体交渉を始め、仲間もひろげています▼支援する首都圏青年ユニオンの神部紅委員長は「学生生活を壊すブラックバイトをなくすため、一緒に立ち向かって。いま安倍政権のもとで学生を取り巻く環境は厳しくなるばかり。しかし、悪政と対決する場には必ず若者の姿があります。自分たちの手で未来をひらいていく若い息吹です。

「しんぶん赤旗」って

■日本共産党の機関紙。1928年２月１日創刊。言論の自由がなかった戦前の暗黒時代、いかなる弾圧や迫害にも屈せず、侵略戦争反対や国民主権などを主張。敗戦の再刊後は巨大メディアが報じない真実に切り込み、打開の展望を伝える「生きる勇気と希望を運ぶ」新聞です。
■編集局のスタッフは310人。全国に九つの総局・支局を置き、海外ではカイロ、北京、ハノイ、パリ、ワシントンに支局を置いて特派員が活動しています。
■日刊紙は全国６カ所の印刷工場で印刷、専用トラックで各地に運ばれ、10万人を超す党内外のボランティアの手で各家庭に配達・集金されます。

制度と法律 かしこく使おう

必読 はじめての学生生活 応援

奨学金

無利子希望だったけど、有利子になった
将来返せるかどうか不安です

乗り換えOK・返済猶予も

いまや学生の2人に1人が利用する奨学金。学費や生活費にあてられるなど、学生生活に欠かせないサポートになっています。同時に、「無利子希望だったけど、有利子しか借りられなかった」「将来返せるか不安」というのもよく聞かれる声です。

「予約採用で第一種（無利子）がダメだった」という人でも、在学採用で利用できる可能性があります。

長い人生には苦しい時期もあるかもしれません。その場合、奨学金の返還で困ったときのセーフティーネットをうまく活用しましょう。

●減額返還・返還期限の猶予制度

災害、傷病、経済困難（年収300万円以下が目安）、失業などの返還困難な事情が生じた場合に、一定期間、1回当たりの返還額を半分に減額したり、返還を停止して先送りできる制度。その期間は、延滞金も加算されない。

●返還期限の猶予制度

別な人だから、予約採用枠に入れなかった人でも、在学採用の枠に滑り込める場合があるのです。在学採用の申し込みには、あらためて応募が必要になります。

「無利子に」「給付制を」

みんなの声で一歩ずつ前に

日本共産党は、奨学金問題を何度も国会で取り上げ、「すべての奨学金を無利子に」「返還猶予を無期限に」「給付奨学金の導入を」など若者の願いをつきつけてきました。国民の世論におされ、政府・文科省も、少しずつですが無利子奨学金の枠を増やし、返還猶予期間を5年から10年に延長するなど改善をはかってきています。

給付制がなく、7割が有利子という日本の奨学金制度。「まるで教育ローン」という批判が出るのは当たり前です。将来の返済を不安に感じて、奨学金を「借りたくても我慢」してバイトにはしる学生も増えています。〝学生の夢と希望を応援する〟という本来の役割にふさわしい奨学金制度へ改革が必要です。

各国の授業料・奨学金は

	授業料無償化または低額	給付奨学金
スウェーデン	○	○
ドイツ	○	○
イギリス	×	○
アメリカ	×	○
日本	×	×

日本共産党の政策▶「学生が安心して使える奨学金に―奨学金返済への不安と負担を軽減するために」

チェック！

ブラックバイト

店長が「シフトに穴をあけるな」と
働いてる時間の15分未満は切り捨てなんて

おかしいと思ったら相談

イラスト・井上ひいろ

あなたは、どんなアルバイトをやってみたいですか。

いまや7割の学生がバイトに従事し、この時期は、バイトを始める学生が急増します。なかには、お金だけでなく、やりがいをえられる仕事もあります。ところが近年、バイトによって学生生活が脅かされる事態――ブラックバイトが増えています。

あえて「ブラックバイト」を選ぶ学生は、誰もいません。知らず知らずのうちに、違法な働き方を押しつけられてしまうのです。

バイトの学生も、法律上は立派な労働者。働く者の権利を知っておくと、いざというときに身を守ることができます。

●「シフトの押しつけ」は違法。いつ、どこで、何時から何時まで働くかは雇用契約の基本の基本です。あえて「フレキシブルな働き方」を強いる労働契約は違法です。

●「ただ働き」は違法。賃金は1分単位で…「15分未満の労働時間は切り捨て」なども違法です。着替えや掃除、引き継ぎ、勉強会の報告書作成などにかかった時間も、すべて1分単位で賃金が発生します（行政通達・1988年3月14日基発150号）。自宅でも入退社時刻を記録しておけば、立派な証拠になります。

●夜10時以降は、時給が25％増に…1日8時間を超えて働いた残業分や、午後10時から午前5時までの深夜勤務には、それぞれ20％以上の割増賃金が支払われます（労働基準法第37条）。

ほかにも、「ミスは弁償」「売れ残りは買い取らせる」「辞めさせない」などは、すべて違法です。

さらに、バイトでも休みをとる権利があります。半年以上同じところで働けば、有給休暇が取得可能（労働基準法第39条＝表）。1日に6時間を超えて働くときは45分の休憩時間をとれます（労働基準法第34条）。

おかしいと思ったら、バイト仲間といっしょに声をあげてみることです。お近くの日本共産党事務所にも、気軽にご相談ください。

バイトでも年次有給休暇はとれる

週の所定労働日数	勤続年数 6カ月	1年6カ月
4日	7日	8日
3日	5日	6日
2日	3日	4日
1日	1日	2日

※労働時間や勤続年数に応じて増えます

◀日本共産党の政策「ブラックバイトから学生生活を守ろう」

チェック！

国会で追及 参院議員 吉良よし子

〝タイムカード押す前の着替えも労働時間。ごまかし許しません〟 ブラックバイト

質問する吉良よし子議員

「タイムカードを打っても、分単位の労働時間を修正させます。制服の作業を確認するビデオ視聴も労働時間に含まれず、深夜勤務以外でも1人勤務の時間があります」

丼物・うどんのチェーン店「なか卯」でアルバイトするAさん（大学3年）の実態です。大学開講中は土日の週2回、生活費を稼ぐためにアルバイトしています。

大学生に重くのしかかる学費、奨学金。その負担を軽減するために、低い賃金で働き続け、違法な働かせ方を強要する「ブラックバイト」で働かざるを得ない実態が広がっています。

「ブラックバイト」問題を解決しようと、日本共産党の吉良よし子参院議員は今年2月、首都圏青年ユニオンとも協力してAさんの実態をもとに「なか卯」の違法を国会で追及しました。

「なか卯」では、着替えや連絡ノート確認、会社経営理念の唱和、接客用語や月間重点目標の唱和のあとタイムカードを押すという労働時間のごまかしをしています。

吉良議員は「タイムカードを押すまでにやるように指示されている行為は使用者の指揮監督のもとに行われる行為で、明らかに労働時間だ」と指摘。塩崎恭久厚生労働大臣は「義務付けられている行為ならば、労働時間にカウントされる」と認めました。

吉良議員は、この実態はあらゆる職場にまん延しているとして、直ちに根絶するよう政府に迫りました。

国会での追及だけでなく、現場から実態を告発する取り組みもすすめています。京都の吉良同盟と共産党はアンケート調査を実施。「売れ残ったおでんを買わされることもある」（コンビニ）、「皿洗いをしているとき、落として壊したことがあり、弁償させられた」（居酒屋）などの声がよせられました。

この調査で、法律に違反する行為にあたる項目に「はい」と答えた人は74・4％。4人に3人が「ブラックバイト」に苦しめられています。

民青京都府委員会は、労働局や行政との懇談、議会請願に取り組んでいます。

よこのカギ

1 おおいぬ座の主星。太陽を除き、全天で最も明るい恒星。
4 日本共産党が発行している「しんぶん赤□□」。
6 □□てつ。デパ□□。
7 「□□□□や月は東に日は西に」無村。
9 春を告げる鳥。
10 「□□より証拠」。
11 □□があがる。□を閉じる。
13 最近はマーチングバンドということも多い。□□□隊。
16 「変身」などで有名なドイツの小説家。□□□□・カフカ。
18 地球にやさしい。□□カー、□□ポイント。
19 囲碁、将棋、柔道などの技量をしめすもの。
20 鶏肉を串にさして焼いた料理。タレでも塩でもおいしい。

たてのカギ

1 胡麻（ごま）、けし、菜種、山椒（さんしょう）などのこと。
2 □□□高校になると生物、化学、物理などにわかれる。
3 公園にたいていあるもの。ブランコ、鉄棒、□□□。
4 カーネーションを贈るのは□□の日。
5 家主に対して、その賃家に住む人のこと。
8 恵方巻き、のり巻き、かっぱ巻き…、みんなこれ。
9 格差が広がり、子どもや母子家庭の□□□が問題に。
12 トランプのキング、クイーン、ジャックのこと。
14 夜に一睡もしないこと。テスト前にやる人も多い。
15 布団をたたくと出てくるもの。□□□。
17 観賞用に種類も多い植物。胡蝶□□など。
18 今年のこれは羊。

クイズの答え

A	B	C	D	E

正解者の中から、抽選で20人の方に図書カード（500円）プレゼント
○あて先＝郵送の場合〒151－8675 東京都代々木郵便局私書箱02号「赤旗」学生版係／メールの場合 iryo@cpo.jcp.or.jp 件名は「赤旗」学生版係）
○クイズの答えと「赤旗」学生版を読んだ感想（よかった記事など）、住所・氏名・大学名をはっきり書いてください。
○締め切り＝5月末日（当日消印有効）
○当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

読者プレゼント

格差と貧困 どう考える

話題のピケティ・いま面白いマルクス

トマ・ピケティ氏の『21世紀の資本』が日本でも話題となっています。

ピケティ氏は18世紀以来の世界の富と所得の分配にかかわる、膨大なデータを収集・整理し、次のような結論を導きだしました。

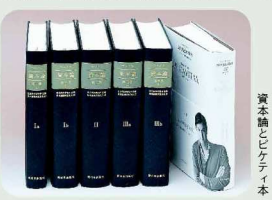
*株などの金融資産から得られる収益のほうが、働いて得た収入よりも伸びが大きく、金融資産を親から受け継いだ人たちは、もたない人たちよりも圧倒的に有利である。民主主義と公正な社会を守るために、大金持ちの金融資産への課税が必要である。

――格差が広がっていることへの厳しい警鐘を鳴らしています。

ところで、ピケティ氏は、「なぜ」このような格差が資本主義社会で生まれるのかについては、多くを語っていません。その「なぜ」を考える大事なヒントを与えてくれるのが、カール・マルクス（1818～83年）です。

マルクスは、資本主義社会は、これまでのどの社会に比べても生産力を発展させ、経営を大規模化し、巨大な富の蓄積を可能にすると分析しました。ところが、その富は一部の人たちに独占され、働く人たちの側では「貧困」や「抑圧」がすすむと警告したのです。

マルクスはこのように特徴づけられる社会を資本主義社会と命名しました。人類の歴史はこの段階で終わるのではなく、多数の人びとが問題点を自覚し、手をつなぎあい乗り越えた先に、「人間の全面的発達」を可能とする未来社会が実現できるとも展望しました。


資本論とピケティ本

この「マルクスの目」でいまを見つめると格差が生まれるメカニズムを太くつかむことができます。もうけのためなら若者を使いつぶすブラック企業のような企業がなぜはびこるのか、大企業は空前の大もうけを上げているのに給料が上がらないのはなぜか、その仕組みも分かるでしょう。もちろん、どうすれば打開できるのかヒントを得ることもできます。

マルクスがいま面白い。この機会に、「マルクスと友達」になりませんか。（Y）

不破哲三さん マルクス語る 5月24日（日）

講演会　「マルクスと友達になろう――社会を変革する学び」
講　師　不破哲三さん（日本共産党・社会科学研究所所長）
と　き　5月24日（日）午後2時～
ところ　日本共産党中央委員会・大ホール

主　催　民青同盟
参加費無料、要申し込み
参加申し込みは、メールまたは、お知り合いの民青同盟員に。メールには住所、氏名、年齢、大学名をお書きください。
（メールアドレス）k_seminar@dyjj.or.jp